

はじめに

本書で紹介した記事は、基本的には二〇一〇年四月から二〇一一年三月までの間に生起もしくは発覚した差別事件、あるいはこれ以前に発覚し、この間に糾弾会などで集約を確認した差別事件を拾い上げ、そのなかから比較的事実関係が明確で、典型的な事件を選んで編集・紹介している。

「解放新聞」中央版や各都府県版、その他、部落解放同盟各都府県連合会が集約した資料などから収録した。

編集にあたっては、可能な限り資料収集に努めたが、都道府県によって紹介した件数に偏りがある。本書に収録されたものがすべてではなく、都府県連段階でも集約しきれていない、支部・地域協議会レベルでの未確認情報が多数あるものと思われる。ついでには、そういった細かな情報等があれば、ぜひともお知らせいただきたい。

また、これら収集した差別事件について、今回、紹介しうる該当事例のなかった結婚に関わる差別事件とマスコミ・出版界における差別事件を除いて、①土地差別調査事件、②戸籍謄本等不正取得事件、③結婚相談所による差別事件、④差別投書・落書き・電話、⑤インターネットによる差別事件、⑥地域社会における差別事件、⑦就職差別事件、⑧企業・従業員による差別事件、⑨公的機関・職員による差別事件、⑩教育現場における差別事件、⑪宗教界における差別事件、⑫エセ同和事件、の一二項目に分類している。ただし、複数の項目にまたがる差別事件については、これまでと同様に、より適切と思われる項目に分類した。

本書で紹介した差別事件は氷山のほんの一角にすぎないが、差別の現実を知る手がかりとして、また差別撤廃への取り組みの基礎資料として、少しでも役立てば幸いである。